



FKC

FURANO KOTOBUKI COLLEGE

Times

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

経済学とは限りある資源の効果的活用学！？

前は健康講座と経済学講座を開催しました。

午前は富良野市社会福祉協議会の柘竹さんを講師に健康講座を開きました。記録的な今年の暑さに対処した心と体づくりを実技を交えて学びました。柘竹さんには年に二回講座をお願いしています。コロナ禍での生活が続く中で、私たちに正しい情報を伝えていただくとともに不足しがちな体力の補強とコミュニケーションの大切さを教えていただいています。

柘竹さんにお会いしているだけで、柘竹さんの温かい人間性が私たちに幸福感と安心感を与えてくれます。柘竹さん、ありがとうございました。



午後は旭川市立大学経済学部教授の大野成樹先生を講師に、「経済学」を学びました。

円安と円高、為替レートなどわかりやすく説明していただきましたがその中で気になったことが2つありました。



1つに、「記録的な円安で進む外国人労働者の日本離れ」、働き手が少ない現状に加え、円安で外国労働者不足の現状…

そして「家族向け公的支援が増えた国ほど出生率も上がる傾向にある」…明石市の「五つの無料化」を事例に上げ①子ども医療費 ②おむつ（満1歳まで）③第2子以降の保育料（副食費を含む）④中学校の給食費 ⑤文化博物館など公共施設4か所の入場料…その財源についてなど大変興味ある内容でした。

限りある大切な資源と財源をどう効果的に活用するのか、選択力こそが経済学の本質なのだ実感しました。この度の大野先生の経済学講座ですが、3年前にもお願いしていた講座です。しかし、新型コロナ感染拡大防止のために中止になりました。経済学を私たちの生活に寄り添った学問であることを大変分かりやすく教えていただきました。

大野先生この度はありがとうございました。



本日、9月13日(水)の日程

AM: クラブ学習

PM: コーラス・踊り、学年別研究

○ 令和5年度教材費納入日 1,200円/人

○ 自治会主催パークゴルフ大会の一次集約

10月18日(水) 9時開会 9時30分競技開始

参加一覧表を配布しますので学年ごと参加の有無を記入ください。

(用具がない方で参加したい方は用具欄○印をお願いします。何とか用意が可能です。)

場所: 朝日ヶ丘公園パークゴルフ場

なお、18日雨天の場合は、翌日の19日(木)に実施します。この日が雨の場合はスポーツセンターにてフロアカーリング大会に変更します。

9時30分 朝の集い

9時50分 クラブ学習準備

10時00分 クラブ学習 (書道クラブ・陶芸クラブ: 自主活動)

12時00分 昼食 休憩

13時00分 「コーラス」「踊り」

14時10分 学年別(課題別)研究

15時10分 終了 後片付け 同好会活動も可能です。事務局に連絡ください。

次回、9月27日(水)の日程

AM: 俳句講座

PM: 文学講座

○自治会主催パークゴルフ大会の参加者
最終集約日

9時30分 朝の集い

校歌斉唱・ラジオ体操

10時00分 俳句講座

12時00分 昼食 休憩

13時00分 文学講座

(百人一首の続きをする予定です)

“自分の好きな一首を見つけておきましょう”

14時00分 講座終了

14時10分 学年別研究

15時10分 同好会活動・その他



インターンシップで フロアカーリング体験

9月7日(木) インターンシップで緑峰高生の高橋さんが参加しました。

ちょうどこの日、フロアカーリング同好会の活動日でしたので仲間に入れてもらいゲームを楽しみました。

フロアカーリングは初めてということですが、コツをつかむのが早く、「はまりそう」と楽しそうでした。ことぶき大学の皆さんお世話になりました!

第1学年

学年別研究テーマ決定！

第1学年の学年別研究テーマが決まりました。テーマが決まれば、あとは計画と実行あるのみです。頑張りましょう！！

戦後78年を迎えた今年、「ことぶき大学から若者たちへ平和への思いを届けよう！」という取組です。

朝のNHKニュースでご覧になった方もいたと思います。

作家の澤地久枝さんが“若者に語った戦争”からヒントを得ました…ことぶき大学1年生の私たちに何ができるのか、私たちが子ども時代に経験した戦争に関する事を記憶から掘り起こし、冊子にまとめてみようということです。

3～4年のスパンで最終的に市内の子ども達に配布できるようにまとめたいということです。この取組は自分自身の人生を見つめることでもあります。

本科1年生の挑戦が始まりました…



演劇祭に向け猛特訓中！

第2研究生はただいま10月9日（月）の「ふらの演劇祭」に向けて練習中です。

コロナ禍で学年別研究の時間が確保できない状態が続き、今年ようやく年度計画に位置づけることができました。

「あの感動をふたたび」源五郎こと第2研究生の今さんの一声で11名のメンバーが集まり、学年別研究がスタートしています。



演劇のテーマは「ドリーム（ゆめ）」さて、源五郎はいったいどんな夢をみるのでしょうか。楽しみですね…



ス Copp 三味線同好会

三市町芸能発表交流会に新曲披露！！



街…」が入り、ことぶき大になりました。

10月12日（木）に開催交流会に向け、ただ今特訓

3名の新入生が加わり13名の同好会となりました。何としても新曲に取り組みたいという強い思いが第2研究生の西濱さんの心を動かしました。自作の楽譜づくりで、はぎれの良いリズムミカルな流れのバチさばきとなりました。曲中には「ふらの



学ならではの曲と

の三市町芸能発表中です。



寄稿文



小供のころの思い出 ④

第2 研究生 高田江美子

畑の横とか、家のまわりには、春から次々と食べられるように、イチゴ、グズベリー、カリンズ、スモモ、コンメ、ハタンキョウ、秋にはナシとブドウがたくさん植えられてとても楽しみでした。

父が、ほとんど世話をしてくれていた。近所で手入れもせず、木がぼうぼうとしている家があり、そこにはクルミの木がたくさんあり、実が落ち、たくさん出てきている1本をもらってきて、ブドウ畑の中心に植えておくと、私の知らない間に根本を切られていた。びっくりして父に聞くと果物の近くにクルミを植えると栄養がとられるので、だめなんだと云われた。何でも植えれば良いと云うことではないのだと知りました。

⑤

私の実家は、お米を作るふらの寄りの中富良野町です。そのせいか、ふらのから歩いて時々ホームレスの人がやってきました。

母にそうゆう人が来たときは、お米をあげなさいと云われていました。

冬のすごい吹雪の日に、すぐ向かいの家のわら小屋にホームレスの男女が寒さをしのいでいた所を、そこのおじいさんに見つかり、追い出されて私の家に、手袋もはかず、手をまっかにしてきた。

母がその姿を見て、すぐ家に入れ、ストーブ横の一番暖かい所に座らせて、大きな塩むすびと漬物。そして、みそ汁をすすめていた。

しばらくすると、母が「体もあたたかくなっただろうから、暗くならない内に行きなさい」と諭して、二人は出ていきました。

私は母に、こんなにやさしい所があるんだな~と知り、とてもうれしかったです。



高田さんありがとうございました。この続きはあるのでしょうか!?期待しています。

皆さんからの寄稿文を待っています。楽しかったこと。怖かったこと。気になっていること…感想文、詩、短歌、俳句、絵手紙、写真… 待ってます!



ティータイムコーナー!

9月8日の道新の富良野版にことぶき大学書道クラブ講師の大橋静琴先生と教え子の中田さんのツーショットが掲載されていました。

「第54回全国書道コンクール」において毛筆部最高賞に中田さんが、一般ペン字部で大橋静琴先生が最高賞を受賞されたということですから素晴らしいですね。本当におめでとうございます。

新聞の記事を読みますと、静琴先生があえて難しい「はね」を多用するように提案されたとのこと。なるほど、作品をみると、とても特徴のある「はね」です。素人でもわかります。興味があり、ネットで書家の顔真卿(がんしんけい)を調べてみました…「はね」と「はらい」に特徴があり、しかも、5°の左回旋、左払いの行方、蚕頭燕尾などの特徴があるとのこと…そして、何と…従行鋒から先行鋒へと顔真卿はそれまでの既成概念を覆し新たな真逆の書の道を切り開いたということですから凄まじいものです…その顔真卿になったつもりで書きなさいと静琴先生が中田さんにアドバイスしたのでしょう…凄いな!など…お茶を飲みながら顔真卿のユーチューブに夢中になっていた私に、妻はおもむろに「日本語なのに何のテーマなのかさっぱり、意味不明」と言い出し…笑ってしまいました…チャンチャン…… 書は奥深いです…

制対
本堂の
禮孫